

## 出雲圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】令和2年12月22日（火）19時00分～20時50分

【場所】出雲保健所 大会議室

【出席者】各病院長、医師会長、介護保険サービス事業者連絡会、老人保健施設協会、介護支援専門員協会、訪問看護ステーション、保険者協議会、出雲市消防本部、出雲市等（委員：22名、オブザーバー：8名）  
（傍聴：6名）

### 【議事内容】

- 1 令和2年度医療・介護連携専門部会の取り組みについて
- 2 圏域の医療機能分担
  - （1）現状と課題について
  - （2）各病院の2025年に向けた対応方針について
- 3 医療と介護の連携
  - （1）在宅医療の体制整備について
  - （2）第8期介護保険事業計画について

### 【主な意見・協議結果について】

#### 1について

今年度は、①医療機能分担について各病院の対応方針を踏まえた圏域の対応方針、②医療と介護の連携、③圏域編保健医療計画中間見直し案について検討を行う。

#### 2について

取り組みにより、圏域全体の病床数は減少している。又、機能別にみると、急性期、慢性期病床が減少し、回復期病床が増加しており、地域医療構想に沿った医療機能分担と連携が進みつつある。

#### ①島根大学医学部附属病院

総合周産期母子医療センターの設置に向けて施設の改修中。NICU6床→12床増床。GCU9床のまま。

#### ②島根県立中央病院

・島根大学医学部附属病院と連携し「総合周産期母子医療センター」から「地域周産期母子医療センター」へ移行するため、改修を検討している。

・昨年度、地域医療総合確保基金の申請のため、病棟再編と60床削減について承認されたが、新型コロナウイルス感染症の感染管理のため患者を受け入れる余力を10床確保し、当面50床減ということに変更したい旨の提案があった。

→調整会議として、合意することを確認

### ③出雲市立総合医療センター

- ・平田地区の在宅医療を担う開業医が減ってくる。それに対応するため在宅医療を医師2名が担当、訪問看護をみなし事業として実施。また専門外来を立ち上げた。
- ・地域の急性期医療を担いながら24時間の往診体制を確保するためには、在宅医療をしたい医師の確保など体制整備が課題である。また、当院訪問看護の24時間体制化も求められている。

### ④出雲市民病院

- ・120床の地域包括ケア病棟への移行は完了し、病床機能の転換はほぼ終了した。
- ・在宅医療を支える病院としての機能を担っていく。地域の在宅医療専門診療所との連携を進める中で、在宅や施設からの急性期の患者を受け入れていきたい。

### ⑤小林病院

- ・一部介護医療院への転換を予定している。現在入院中の1～2割が医療区分1の患者であり、この患者を介護医療院で診ていくことになる。

## 3について

○2018年から2025年に在宅医療が必要となる患者の増加見込みを314人から328人に修正

○訪問診療を実施している医療機関は、2018年には診療所で58か所、病院で4か所あり、2016年に比べ各1か所、計2か所増加。訪問診療の件数は増加しているが、今後は減少することが予想されており、病院を中心とした在宅医療の体制整備を進める必要がある。

○訪問看護ステーションは、2020年11月時点で18か所あり、2016年に比べ3か所増加し、在宅医療の体制は整備されつつある。しかし、どのステーションも稼働状況は満杯であること、小児の受け入れ可能なステーションが1か所しかないのが課題である。今後、訪問看護が果たす役割はさらに大きくなると考えられ、引き続き体制整備の取り組みを進める必要がある。

○第8期介護保険事業計画策定について（出雲市）

- ・介護人材の確保・定着に係る施策の推進を重点的に行い、既存サービスの提供体制を充実させたい。
- ・介護サービス基盤の整備については、①定期巡回・随時対応型訪問介護看護、②看護小規模多機能型居宅介護のサービス提供体制を拡充させたい。
- ・介護医療院は、現時点では市内にはないが、8期計画中に療養病床を有する医療機関及び既存の介護老人保健施設が転換予定
- ・自然災害・感染症対策に係る体制整備について、各事業所の事業継続を支援する取り組みを行っていきたい。
- ・2021年2月に「出雲市在宅医療・介護連携推進基本計画」及び「入退院連携ガイドライン」を策定し、取り組みを進める予定。

<質問>

- ①具体的な人材確保対策について
- ②外国人対応について

<回答>

- ①今年度からプロジェクト会議を実施し、検討している。介護職のイメージアップのために市のホームページや SNS を活用した情報発信をしている。また、キャリアアップのための研修会の開催、離職防止のために若手職員のネットワーク作りへの支援を行っている。
- ②出雲市内はブラジルの方が多い。今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で実施出来なかったが、介護が就職の選択肢の一つになるよう外国人の方へ情報発信をしていく。

<意見>

- ・施設は、ゾーニングが難しく新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生すれば医療崩壊しかねない。施設整備を含めた支援をお願いしたい。

○出雲地域介護保険サービス事業者連絡会

- ・特別養護老人ホームは、慢性期で介護の必要な人が対象である。在宅待機者の中には、医療依存度の高い人が多く、空きが出来ても入所出来ない現状がある。